



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：インターナショナル・スクールに対する男女分離命令

(9月3日付「サウジガゼット」紙)

1. サウジアラビア教育省は、「サウジ市民が所有しているインターナショナル・スクールが、教育上及び行政上の両面で完全なる男女分離を維持しなければ、学校は閉鎖されるであろう」と述べている。
2. ジェッダ市にある 66 校のインターナショナル・スクールは、おそらく先月公布された「分離命令」の影響を受けることになる。同命令は、男女が別々の建物で活動するように命じている。
3. ジェッダ市外国教育部門長は、「教育省は、男女の分離は 1 年生から適用すべきで、男性教員は男子クラスで教えるべきと命じている」旨を述べている。インターナショナル・スクールの校長は、「我々は、そのような男女分離の回状を毎年受け取っているが、それらは我々に適用していない。我々は、男子と女子用に異なった 2 棟の建物を持っているが、指導の現場では、その男女分離の命令を実行出来ていない」旨述べている。
4. もう一つのインターナショナル・スクールの所有者は、「我々は、副大臣と会って同命令について話し合いを行った。我々の学校指導は、これまで男女分離の規則に厳格に従っていないかどうかについて公的な警告を受けたことがなかったが、我々は男女分離の義務を評価するあらゆる監査に対して、完全に準備が出来ている」旨を述べている。